

筑後市社会福祉協議会 / 広報

人として

筑後市社会福祉協議会

(〒833-0032 筑後市野町680-1)

TEL 52-3969

FAX 53-6677

Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

URL http://www.chikugo-shakyo.or.jp

私たちの手で 私たちのまちを 福祉のまちに…それが社会福祉協議会の目標です。

地域ふくしセミナー

誰でも楽しく生活できる環境をつくりたい



筑後市での生活を振り返って

地元の保育園、学校に通いました。「障害があるからできない」ではなく、「どうすればできるか」を考えて勉強や行事などに参加し、友達と過ごしました。

また、学童保育では、ボランティアグループの「トモくん応援団」に見守ってもらい、プールに入ったり学習したりと放課後や長期休暇を過ごしました。そのおかげで地域の人も繋がり、声をかけてくれる人もいたり、たくさん温かい支援をしてくれました。

「みんなと一緒に勉強したい」と高校受験にも挑戦しました。最初は不安に思う先生方もおられました。が、学年があがるにつれ、先生も、同級生もお互いに認め合うようになりました。

社会福祉士を目指し進学した県外の大学には、自宅から新幹線で通学しました。環境の変化への戸惑いや、

新型コロナウイルスの流行などの困難もありました。しかし、ヘルパーや、公共交通機関など多くのサポートのおかげで、実習と試験も終え、資格を取得することができました。

障害者のイメージを
楽しみながら変える

「みんなと同じように仕事が出来」という思いで、就職活動を行なうもうまくいきませんでした。そんな中、先輩の紹介で、関西の自立生活センターのインターンシップに参加しました。さまざまな人と出会う中で、考え方にも変化がありました。現在は、親元を離れ、そこで一人暮らしを楽しんでいます。遊びたいときに遊びたい人と遊びに行く。とても楽しい毎日です。

学校生活と、自立生活がうまくいったのは、僕の努力ではなく、「共に生き、共に学ぶ」という周囲の意識が高く、対等に向き合ってくれたからです。

いつか筑後市に戻り、誰もが楽しく生活できる環境をつくりたい。そして、楽しみながら障害者のイメージを変えていきたいと思っています。

12月4日(月)、中山智博さん(社会福祉士)を講師にお招きし、地域ふくしセミナーを開催しました。中山さんは、筑後市で生まれ、脳性マヒによる肢体不自由で車イスを使用しながら生活をしています。昨年春に大学を卒業し、関西で新生活をスタートしました。

今回は、「僕の目指すもの」をテーマにお話していただきました。

ボランティア連絡協議会×市社協
Let'sボランティア体験



車イス体験



点字体験



手話体験

ボランティア連絡協議会(以下、ボラ連)と市社協は、11月25日(土)、12月9日(土)、12月16日(土)にそれぞれ、点字・手話・車イスの体験学習を行いました。

点訳グループむつみ会による点字体験では、家事や買い物などの日常生活のことや、「ここに点字があったらいいだろうなど、考えてもらえると嬉しい」と話されました。ちっこ手話サークルによる手話体験では、グループに分かれてあいさつや自己紹介などを行いました。「サークルに入って、もっと上手になりたい」などの感想も聞かれました。

自立生活センターちくごによる、車イス体験では、筑後市内の交通機関、店舗などのバリアフリーの状況を紹介します。「環境や制度が整うことで、自分らしく自立した生活ができます」と話されました。また、「車イス優先のエレベーターでも他の方が使用すると、乗られずに長時間待たされたりするなど、ハード面のバリアフリー化が進んでも、みなさんの理解がなければ、実際には、使えないこともあります」と話されました。

第1回 食の支援団体
情報交換会を開催



12月13日(水)、筑後市内で地域食堂や食料配布などの食品関連支援を行なう6団体の代表が集い、情報交換会を行いました。

意見交換の中では、活動の内容だけではなく、「開催日に必要なボランティアの人数が集まるか不安」「運営費の確保はどうしたらいいのかわかるか」など、各団体が抱く悩みについても話し合われました。

実施の方法や場所、規模、頻度、コンセプトなど、6団体それぞれに特色がありますが、お互いの持つ情報を提供し合う良い機会となりました。

ふゆやすみ!
子どものあそび場OPEN!!



12月25日~27日の3日間、総合福祉センターで、子どもの遊び場を開所しました。多くの子どもたち、親子の参加があり、モール工作や、ボードゲーム、将棋教室などを楽しまれています。

同センターは、平日8時30分~17時まで開所。キッズスペースや絵本の部屋もあります。お気軽にお立ち寄りください♪

この広報紙は、点訳・音訳版も発行しています。ご希望の際は気軽にお尋ねください。

『食料品の無料配布』で ひとり親家庭を応援！

お米、インスタント食品等を配布します。必要な方は、お気軽にお申し込みください。数に限りがあります。

★事前申し込みが必要です！

2月6日（火）12時～2月9日（金）
17時にQRコードを読み取ってお
申し込みください。
（数量限定。期間内でも、定数
に達し次第受付終了します）



対象：平成13年4月2日以降生まれの
子がいるひとり親家庭

配布日：2月13日（火）・14日（水）16時～18時

配布場所：筑後市総合福祉センター

問合せ：筑後市社会福祉協議会 TEL 52-3969
Mail: info@chikugo-shakyo.or.jp

★グリーンフードパントリー
（野菜の無料配布）も実施中！

※詳細は、公式LINEにて⇒⇒



令和6年能登半島地震 義援金募集！

1月1日に発生した地震により、人的及び家屋倒壊など甚大な被害が発生しました。中央共同募金会では、被災された方々を支援することを目的に義援金の募集を行なっています。

■受付期間：令和6年6月28日（金）まで
※延長する場合もあります

金融機関	三井住友銀行	りそな銀行
支店名	東京公務部	東京公務部
口座番号	普通預金 0162530	普通預金 0126815
口座名義	(福)中央 共同募金会	(福)中央 共同募金会

■社会福祉協議会窓口でも受付しております。
■お預かりした義援金は、全額被災県に設置される配分委員会構成組織に被災状況に応じて按分の上送金いたします。



1月14日（日）、よらん野さんにて街頭募金を実施しました。ご協力、ありがとうございました。

令和5年度 赤い羽根共同募金実績

10月1日から市民の皆さんにご協力いただいた「赤い羽根共同募金」と「歳末助け合い募金」。それぞれの実績と配分金をご報告いたします。

共同募金

●戸別（世帯）募金	5,597,388円
●資材（世帯・職域）募金	354,157円
●法人募金	1,888,937円
●個人募金	1,772,919円
●職域募金	177,212円
●街頭募金	44,631円
●自販機募金	58,058円
●その他の募金	76,762円
★合計	9,970,064円

※資材募金とは、ボールペン・図書カード等の購入による募金のことです。

歳末助け合い募金

●歳末助け合い募金	1,318,402円
●善意奉仕銀行より繰り入れ	18,098円
★合計	1,336,500円

歳末助け合い募金配分報告

▼支援を必要とする世帯	774,000円
▼在宅ねたきり高齢者	45,000円
▼在宅心身障害児（者）	517,500円
★合計	1,336,500円

ご協力ありがとうございました

皆様からのあたたかいご寄付は「住んでよかった」と思えるまちを目指した地域福祉活動の推進のほか、被災地の支援・見舞金に活用されています。



社会福祉事業資金寄付

★ 香典返し寄付の部 ★

野間口 博子様(故 威様) 寛元寺
 中村 浩章様(故 野間口 ヤス工様)
 梶原 ヒサ代様(故 大輔様) 長浜 流
 城戸 茂子様(故 弘之様) 秋松
 緒方 ひとみ様(故 幸大様) 赤坂
 竹島 修治様(故 シツ子様) 久恵
 松本 修二様(故 富美男様) 溝口町
 室園 敏一様(故 敏様) 前津
 古賀 之子様(故 園部 陽子様) 北長田
 平泰大様(故 クニ工様) 馬間田北

★ 一般寄付の部 ★

○筑後市美術協会様から現金の寄付
 がありました。

★ 計 二四〇、〇〇〇円

善意奉仕銀行寄付

● 預託の部 (物品口座)

○松本修二様(溝口町)、平泰大様(馬間田北)、匿名様より紙オムツの寄付がありました。
 ○匿名様より食品の寄付がありました。
 ○渡辺喜美様(水田上)よりお米の寄付がありました。

筑後市美術協会様よりご寄付



筑後市美術協会様より、チャリティー作品展の売り上げの一部をご寄付いただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

【いずれも12月1日〜12月31日まで】

○農研機構九州沖縄農業研究センター様(和泉西)より備蓄水の寄付がありました。
 ○匿名様よりチャイルドシートのご寄付がありました。
 ○匿名様よりランドセル、お菓子の寄付がありました。
 ○匿名様より車イス、シルバーカートの寄付がありました。
 ○ユーコーラッキー37筑後店様(長浜)からお菓子の寄付がありました。
 ○JAふくおか八女よらん野様(前津)から野菜の寄付がありました。
 ○(株)プレシア様(下北島)から飲料、お菓子の寄付がありました。

ひきこもり家族相談会

と き 2月15日(木) 13:00~16:00
 ★2月8日(木) 17時まで **に要予約**
 (1日限定3名・匿名可)★原則来所での相談

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

申込み 筑後市社会福祉協議会
 問合せ TEL 52-3969 FAX 53-6677
 Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

福岡県立筑後特別支援学校 赤い羽根キャッチフレーズ特別表彰



共同募金が自分たちの住むまちの福祉活動を支えている募金であることを知っていただくために毎年募集を行う「赤い羽根キャッチフレーズ」。44校の応募から特別賞に筑後特別支援学校が選ばれました。おめでとうございます!

事務局通信

新型コロナウイルスが5類へ移行して初めての年末年始。久しぶりに保育園の頃からの友人たちが集まりました。顔を合わせて、近況報告や、思い出話など、気づけばあっという間に6時間が経過していました。それぞれに、学校に行けなくなったり、大きな病気をしたりと苦しい時期もありました。それでも、お互いを気にかけてあったり、励まし合いながら過ごしてきました。本誌で紹介した、中山智博さんのお話。これまで出会った方との思い出やエピソードに、沢山の感謝の言葉がありました。話を聞きながら、私自身も色んな人の顔が浮かびました。助けてもらったり、力をもらったり、自分とは違う考えと出会って刺激をもらったり。便利な物やサービスは増えました。それでも、それ以上に、助け合える誰かがいることは、安心感があります。私も、智博さんのように人との繋がりに感謝して、過ごしていきたいと改めて思いました。(実)